



芦安中学校だより

第3号

校長 石原敬彦

2019. 6. 24

森林学習会を行いました。瀬戸千段の滝・芦安堰堤・大宝寺を実際に訪ねて学びました。

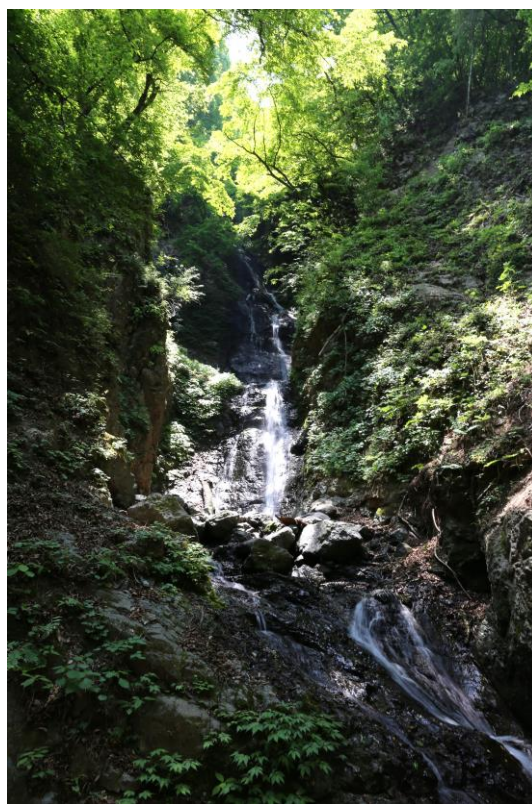
6月10日、小学校と合同で森林学習会を行いました。昨年度は、芦安地域の動植物や山、地形、歴史等について講師の先生方からお話を伺いましたが、今年度は、フィールドワーク形式とし、行ってその場で講師の先生方からの説明を伺うようにしました。

今回、支援をしてくださったのは、芦安ファンクラブの清水准一様、小林成正様、中島紫穂様、鈴木一江様の4方です。

最初に訪ねたのは、昨年遊歩道が整備された千段の滝。清々しい空気とやわらかな緑を満喫しながら遊歩道を登りました。傾斜がきつい場所もあり、展望台に着いた時にはちょっとした達成感がありました。展望台では中島紫穂様から、千段の滝と御勅使川についてお話を伺いました。

千段の滝の次に向かったのは、芦安堰堤。千段の滝の登り口で清水准一様が待っていてくださり、案内をしてくださいました。芦安堰堤は日本で初めてセメントを使用した有名な堰堤で落差も日本最大級とのことです。

最後に向かったのは大宝寺。奈良時代に華嚴宗の寺院として開山され、その後曹洞宗寺院として再興されました。武田信玄の父、信虎に仕えた名取将監のお墓があります。名取将監は信虎の横暴な振る舞いをいさめたために信虎の怒りを買ひ、屋敷を追われて芦安に来たとのこと。芦安の人々に勉強を教える一方で、狩りの名手でもありました。芦安には、「殿屋敷」「観音経溪谷」など、名取将監にちなんだ場所が実在しているとのことでした。



展望台から見た「瀬戸千段の滝」



6月13日・14日 中巨摩地区総合体育大会が行われました。

シングルス・ダブルス・団体戦において今回は上位入賞は果たせませんでしたが、技術面、精神面の両方で個人として、またチームとして大きな成長がみられた大会でした。特にダブルスでのコンビネーションや仲間に対する応援が光りました。7月の県大会に向けさらなる前進を！！



7月7日・8日の全校登山への取り組みが始まっています。今年は鳳凰三山に登ります。

全校登山の取り組みが始まりました。6月10日は清水准一様から鳳凰三山と登山ルートについて、また5月27日・6月18日には市の文化財課、齋藤秀樹様から地蔵信仰について、またそれにかかわる諏訪神社等、地域の文化財についてフィールドワークも兼ねながらお話を伺いました。フィールドワークでは、本校の学校評議員・関係者評価委員の清水実樹にもご協力をいただき、諏訪神社を特別に開帳していただき、貴重な大日如来像を見せていただきました。6月21日には自然パトロールを実施、夜叉神峠登山道の清掃を行いました。今年は、例年になくたくさんのゴミを回収しました。帰校途中に芦安山岳館で展示で学習を行い、山岳館のホールで合唱を行いました。館の職員の皆様、館を訪れていた皆様より温かい拍手をいただきました。6月22日には、南アルプス開山祭に参加、「北岳の歌」「雪山讃歌」を全校で歌いました。6月19日より、登山に向けて早朝トレーニングも開始しました。集合時間が早く、保護者の皆様にはご負担をおかけいたしますが、ご理解とご協力をいただければ幸いです。地域のみなさまや保護者のみなさまの温かいご支援で本校生徒は成長しています。いつもありがとうございます。

